

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	4171200290
法人名	有限会社 風のふく丘
事業所名	グループホーム 風のふく丘三ヶ敷
所在地	佐賀県三養基郡基山町園部字三ヶ敷413番地2 (電話) 0932-81-7814

評価機関名	佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	平成20年9月25日	評価確定日	平成20年11月13日

【情報提供票より】(平成20年9月2日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 10 月 10 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	16 人	常勤 14(兼務12人を含む) 非常勤 2人, 常勤換算 4.4人	

(2) 建物概要

建物構造	木造造り 2階建ての1階部分
------	-------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~20,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	有(50,000 円)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 830円			

(4) 利用者の概要(9月2日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名		
要介護3	7 名	要介護4	0 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 81.8 歳	最低	69 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	丸山病院 きやま鹿毛病院 やよいがおか鹿毛病院 筑紫野歯科クリニック
---------	------------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>静かな山あいの集落の中にある大きな民家を改修したホームで、職員は子や孫が高齢者をお世話しているような家庭的で暖かい雰囲気がある。一部の職員は同一法人が運営する3施設の兼務であるが、利用者ともよく馴染み、人としての尊厳を重視した支援をしている。地域とは協力が得られる良好な関係を築いている。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目 ①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>改善課題は前向きに検討し、改善に向けた取り組みがあるが、改善計画書を作るまでには至っていない。改善の経過・結果・定着状況などが明確になるような改善計画シートの活用も期待したい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員は自己評価、外部評価についての意義を十分理解しケアの質の向上につなげている。運営推進会議においても評価で見出された課題を取り上げ意見を求めている。</p>
重点項目 ②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>利用者の散歩コースである施設周辺の道路については運営推進会議で取り上げられ、地区の区長や民生委員の協力で整備されるに至った。グループホームの問題や行事なども話題にし地域住民の協力が得られる良好な関係作りが出来、ケアの質の向上につながっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時には何でも相談できるような雰囲気作りを心がけている。利用者の健康状態、金銭管理についても細かく報告をしている。家族には運営推進会議、行事への参加をお願いし、意見が出しやすい雰囲気とその機会作りに努めている。出された意見は運営に反映させている。</p>
重点項目 ④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>管理者は地域との交流を心がけ町内会にも入っており、地区の祭りや敬老会への誘いもあり良好な関係を築いている。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は地域密着型サービスの意義を念頭に置き、職員全員で考えた事業所独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の申し送り時に理念を唱和し職員間の理念の共有化を図っている。日々のケアにも地域での生活を支援する為の取り組みがある。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	管理者は地域との交流を心がけている。町内会にも加入しており地域行事や敬老会の参加など地区の区長からの声掛けもある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価については朝の申し送り時、また、勉強会カンファレンス時などに話題にしてサービスの質の向上につなげている。	○	評価で見出された課題について、改善に向けた具体的な取り組みの状況を確認していくような改善計画シートなどの作成も期待したい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開いている。会議ではグループホームにおける課題や行事などを取り上げている。また会議で出された意見はすぐに取り組み、次の会議で報告して、サービスの向上につなげている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	ホーム便りを持参したり、事業所の実情の報告などを行い協働関係の構築に努めている。また、ケアサービスの取り組みを報告している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の面会時には何でも相談できるように雰囲気作りを心がけている。利用者の健康状態、金銭管理についても細かく報告している。ホーム便りも発行してホームでの暮らしぶりを家族に報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や行事には家族の参加をお願いし、家族からの意見を聞く機会としている。出された意見は職員間で話し合い、改善につなげている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者と介護支援専門員以外の職員は法人の3施設の兼務となっているが、日ごろからコミュニケーションの充実を図り馴染みの関係が作られている。また、離職者も少ない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所以外の外部研修(リーダー研修、介護研修等)には出来るだけ多くの職員が受講するようにしている。研修を受けた職員は、事業所内の勉強会時などに伝達をし、学びを共有するシステムがある。また、協力病院の院内研修(月1回)にも全員で参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関係団体のネットワークに加入し情報交換や交流を持つことで、サービスの質の向上を目指している。ホーム内ではミーティング・勉強会を定期的に行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族の求めていることや不安を理解するためにも、事前の面接で今までの生活状態を把握するようにしている。また、体験入所や、おやつ、食事を入居者と一緒にとってもらう機会を設けるなど工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は日ごろから料理や畑作り等を利用者の方々から教えてもらう場面が多く、共に過ごし支え合う関係作りを行っている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の関わりの中で情報の多面的把握に努め、会話・表情・行動等からその真意を推し量ったり、それとなく確認したりする等本人の希望・意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	月例会議やカンファレンス等で全職員が意見を出し合って作成しており、日頃の関わりの中で得た本人や家族の希望・意向を反映させた介護計画となっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的には3ヶ月ごとに見直している。また、状態・状況の変化や本人・家族の要望に応じて随時の見直しが行われ、家族との話し合いもできており、家族が了解したサインもある。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人・家族の状況や要望に応じて通院や外出、外泊等必要な支援を柔軟に対応している。入院時には衣類を持参したり、様子を見に行ったりし、きめ細かな支援に努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診や通院は本人・家族の希望に応じて対応している。原則は家族同行の受診であるが、不可能な場合は職員が代行するようにしている。それぞれのかかりつけ医とは良好な関係を持ちながら、支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	運営規程や重要事項説明書に重度化し看取りが必要な場合の対応が明記されており、入所時に同意を得ている。施設が対応し得る最大のケアについて説明を行っている。過去に1度ターミナルケアの実績がある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録へは他の利用者の名前は記録されていないなど、全職員が人としての尊厳を重視し、利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。排泄介助は羞恥心にも配慮しさりげなく行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームの大まかな1日の流れはあるが、利用者は起床から消灯まで自由な時間を過ごしており、職員は一人一人の状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は家庭菜園での野菜作りから下ごしらえ、調理、片付け等を利用者と一緒に行い、利用者と同じテーブルで和やかに楽しく食事している。食事介助もさりげなく行われている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決まっているが、入浴の時間は利用者の気分で自由に気が向いた時に入浴ができる。入浴日以外でも希望があれば入浴できるよう支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	野菜作り、調理補助など各々の得意な分野で経験や知恵を発揮できるよう、生活の中での場面作りがなされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	施設での外出行事のほか、日々の暮らしの中で近くの公園に行ったり、散策したりと車椅子の利用者も含めて外出がよく行われている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は見守りを徹底し、利用者の外出の気配を察知した場合、さりげなく声を掛けたり、また一緒に同行するなどの対応がとられている。また、職員は鍵を掛けることの弊害を理解しており、居室や玄関に鍵は掛けられていない。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	職員間ではシミュレーションによる訓練を行っている。利用者を交えた屋外避難訓練も行われている。区長の災害時の協力が得られるようになってきている。	○	施設だけの訓練、シミュレーション訓練に加え、地域住民や消防団の参加を得ながらの定期的な訓練の実施も期待したい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス、食事摂取状況、水分補給については摂取量をチェックし、一人ひとりの状態に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は清潔に保たれている。玄関・食堂・トイレにはその季節、庭先に咲いた草花が活けられている。五感に働きかける工夫や季節感を取り入れる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は持ち込み自由で各々の大切に思われる物が持ち込まれている。部屋そのものに我が家のような雰囲気があり、利用者の居心地のよさに配慮されている。		